



発行日 令和5年11月1日
編集 男女共同参画情報紙編集スタッフ
(大畑由香・小林綾・長嶋真理子)
発行 焼津市 市民環境部 市民協働課
(〒425-8502 焼津市本町2-16-32)
☎ 054-626-1178
✉ kyodo@city.yaizu.lg.jp

©かわいさちこ

男女共同参画社会とは、世代や性別にかかわらず、誰もが自分らしく暮らせる社会です。そのためにも、私たちの住む地域や身近な社会生活について、行政と市民が互いに知り、学び、考え、発信し合い、共に社会をつくって動かしていきましょう。

しおかせ

リリース
エッセイ



株式会社 橋本組
橋本 節子さんからの紹介
自分の想いに気づき、
伝えること

私は元タカラジェンヌの経験を活かし、現在スピーチトレーナーとして、企業や学校で伝え方のトレーニングを提供しています。なぜなら、宝塚歌劇団で「自分の想いに気づき、それを伝えること」の大切さを実感してきたからです。

宝塚歌劇団は、戦前から百年に渡って煌びやかな舞台を創り続けている、女性だけの劇団です。男性の役も女性が演じ、これを男役と呼びます。男役として舞台上に立っていた私は、どうしたら「男らしく」見えるかを徹底的に探究していました。毎朝起きてプロテインを飲み、筋トレをし、低い音域の発声をする。休みの日でもレディファーストを欠かさず。そんな日々を送っていました。

しかし探求を続けるうちに、私の演じる役を生きてきた人物として表現するためには、表面的な「男らしさ」ではなく、むしろ内面の「思い」が重要だと気が付きました。役の人物が何を大切にしている、どう在りたいと思っているのか。その思いを掴むと、表面的な「男らしさ」ではなく、その役ならではの「自分らしさ」を持って演じられ、結果として多くのお客様に共感していただける人物になりました。

情報があふれる現代。自分には何が好きで、なにが嫌いか。なにをやりたいか、なにをやりたくないか。自らの想いがわからなくなること多いです。ただ、ただ私には、どんな人にも思いがある、信じています。今は小さな信号かもしれないけれど、その信号に自分自身が気づき、少しずつ言葉にする事で、「男らしさ」「女らしさ」ではなく「自分らしさ」が生きて輝き出す。そう信じています。ぜひ一緒に、自らの想いに気づき、伝えられる社会を目指していきましょう。

子どもから大人まで

※紹介した本は焼津・大井川図書館で借りることができます。
※紹介：大富小学校 学校司書 熊田 邦代

ホオナニ、フラおどります



◎さ・え・ら書房 (2021年)
◎ヘザー・ゲイル/文
ミカ・ソング/絵 クウレイナニ橋本/訳

対象 小学校中学年～

ホオナニは女の子として生まれたけれど、男でも女でもなく、ただ自分として自由に生きたいと思っている。ある日学校で男子フラチームを作る選考があり、メンバー入りする事を望むホオナニ。くじけそうになる度自分を信じて鼓舞する強さに、勇気と元気をもらえる1冊。

ぼくがスカートをはく日



◎Gakken (2018年)
◎エイミ・ポロンスキー/著
まめふく/絵
西田佳子/訳 松中権/解説

対象 中高生～

トランスジェンダーをテーマとした小説。男の子であってもスカートをはくことは個人の意思(自由)であるが、周囲のトランスジェンダーに対する理解も必要。全ての人がこのテーマの部外者ではないことに気付かされる本。

「もしも」のときに役立つ! 防災クッキング 全3巻



◎フレーベル館 (2019年)
◎今泉マユ子/著

対象 児童～

電気・ガス・水道が止まった時役立つレシピや災害への備え、準備についての本です。台風や竜巻、洪水など自然災害が身近になった今、もしもに備え一度親子で作ってみてはいかがでしょうか。

男女共同参画の視点からみる防災

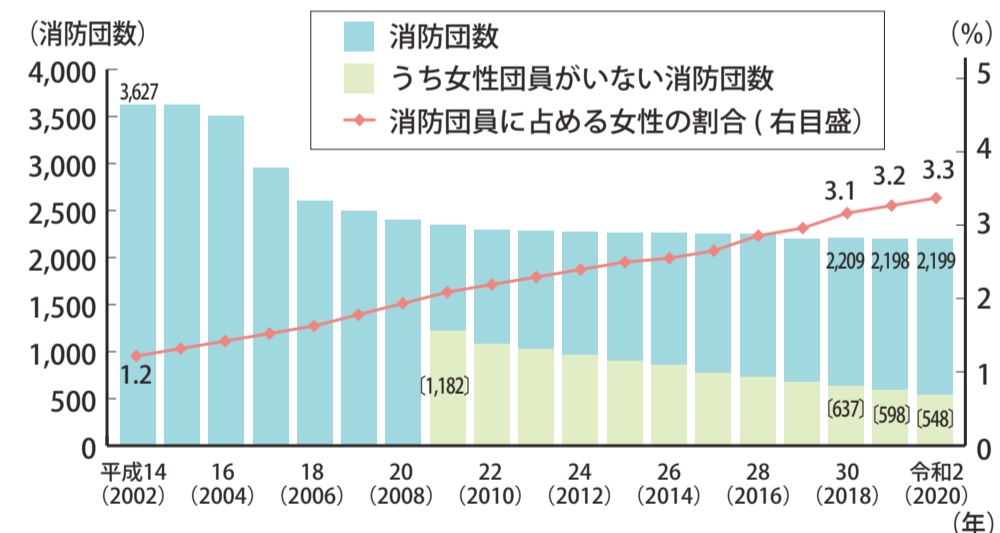
「消防団員」ときくと、あなたはどんな人を思い浮かべますか。男性を思い浮かべるかもしれません、女性では体力がなく務まらない、大変そうだと思う方もいるかもしれません。

頻発する災害の中では、思いもよらないさまざまな問題が生じることがあります。多様な視点を取り入れることで、問題の解決がスムーズになることがあります。

しかしながら、性別的な役割分担にとらわれてきた社会の中ではいまだなお、防災の分野における代表者や役員は男性が中心になって構成されることが多く、重要な物事を決定する場において、女性の意見が反映されにくい状態が続いてきました。

東日本大震災では、男性が中心になって物資の配布を行い、女性に必要な物資がいきわたらず不便な思いをした女性が多かったそうです。

消防団数及び消防団員に占める女性の割合の推移



※このグラフは全国の消防団を示しています。(令和5年度版 男女共同参画白書より抜粋)

左のグラフからは全国の消防団の女性団員の数が増加してきていることがわかります。

多様な視点を取り入れていくことで組織をさらに活性化していく効果があります。誰もが積極的に意見や考えを発信していくこと、そんな場を作っていくことが大切です。

次のページでは焼津市の消防団で活動を行う女性を紹介いたします。



性的な被害、ひとりで悩んでいませんか? 相談できる場所があります。

交際相手からの暴力は、自分で解決するのが難しい問題です。年齢・性別は問いません。相談してください。

電話で相談
内閣府 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター #8891
警察庁 性犯罪被害相談電話 #8103
DV相談ナビ #8008

チャットで相談
内閣府 性暴力に関するSNS相談「Cure time」(キュアタイム)

「焼津市役所 子ども家庭センター」ではDVについて相談することができます。
☎ 054-626-1165 ✉ kodomosoudan@city.yaizu.lg.jp

女性相談室

市では、女性が抱える悩み(夫婦のこと、生き方のことなど)を女性相談員(カウンセラー)が面談して共に考え、解決のお手伝いをする「女性相談室」を開設しています。相談は無料、予約制です。お気軽にご利用ください。

相談日 毎週木曜日 ①9時～ ②10時30分～
第2・4火曜日 ①13時30分～ ②15時～
※祝休日・年末年始を除く ※相談時間は約1時間です

予約・問合せ先 市民協働課 ☎ 054-626-1178
平日 午前8時30分～午後5時

Original Jewelry Treasure Box Yaizu. Promotion for jewelry repair and engraving services. Includes contact info and QR code.

Yakuzumi's Specialty Bread. Promotion for various breads and pastries. Includes contact info and QR code.

Osaka Glass. Promotion for glassware and home goods. Includes contact info and QR code.

男女共同参画・人権フォーラムinやいづ2023

ある幸せ、ない幸せ

～自分で決める暮らし方～
元朝日新聞記者 稲垣 えみ子さん講演会



一橋大学卒業後、朝日新聞社に入社。大阪本社社会部、週刊朝日編集部などを経て、論説委員、編集委員を務める。東日本大震災を機に始めた超節電生活を綴ったコラムが話題となり、「報道ステーション」「情熱大陸」等にも出演。50歳で朝日新聞社を退社し、夫なし、子なし、冷蔵庫なしの「ハッピーに閉じていく人生」を模索中。

日時 令和5年12月9日(土)
13:30～15:00講演会(開場13:00)
会場 焼津文化会館 小ホール
定員 300名(先着順)
申込方法 12月6日(水)正午までに右記QRコードよりお申し込みください。(電話も可)
申込・問合せ先 焼津市 市民環境部
市民協働課 ☎ 054-626-1178 kyodo@city.yaizu.lg.jp
暮らし安全課 ☎ 054-626-1131 kurashianzen@city.yaizu.lg.jp

入場無料
要申込

消防団で活躍する人たちの紹介



焼津市消防団第8分団

●主な活動内容

月に1回、団員全員が集まって、放水訓練や消防車内の機械操作方法の確認を行っています。また事故処理の時に、使用する器具の取り扱い訓練も行います。

冬場の火災が多い時期には、夜間広報活動としてポンプ車に乗り、火災予防の啓発活動もしています。応急手当普及員の資格を持っている団員は、普及員として、一般の方や小学生などにAEDの使用方を教える講座も行っています。

グエン・ティ・フォンさん

2019年入団（応急手当普及員）

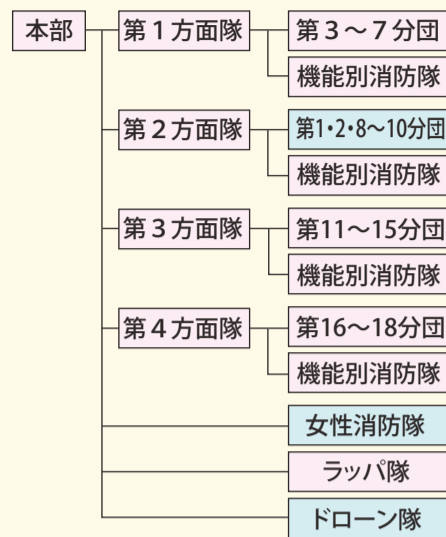


鈴木 久留美さん

2020年入団



【焼津市消防団組織概要図】



焼津市消防団について
くわしくはこちら！



グエンさん
鈴木さん

中村さん



女性消防隊・ドローン隊

なかむら ちおり 中村 知織さん

2017年入団（応急手当普及員・ドローンパイロット）



●女性消防隊について

主な活動はみなさんが想像するような消火活動はなく、広報活動や広報誌の発行、地域への救命講習などです。

また志太消防と協力し、一人暮らしの高齢者宅の消火器や住宅用火災警報器などの点検や、幼稚園・保育園の花火教室に行くこともあります。女性隊員も同行することで安心していただけるよう工夫しています。隊員は子育て中や仕事をしている方、お孫さんがいらっしゃる方もいます。

参加できる方が無理せず活動しているので、興味のある方は気軽に入ってもらいたいです。

●ドローン隊「SKYSHOOT（スカイシュート）」について

現在16人中4人が女性で、全員がドローン操縦資格を持っています。最初は男性だけでしたが、女性の視野も必要だということ、災害時の様々なことに対応するため、女性も入ることになり、2020年に全国初の女性消防団員のドローンパイロットが誕生しました。



操縦や補助など活動には最低4人必要で、月1回全体で集まり、会議や訓練を行い連携の確認を行っています。要請があった時に火災現場や土砂崩れ、行方不明者捜索などに動きます。出動は隊員の生活スタイルに応じて調整しています。



●楽しみながら人のためになる活動を

私は結婚前に応急手当普及員の経験があり、元々消防団に興味がありました。入団を心配する夫と話し合い、娘の小学校入学を機に入団しました。

最初は育児で参加できないことが多かったです。また、ドローンの操縦や応急手当も常に技術を磨かなければなりません。それでも続けていけるのは、色々な世代との交流や勉強が楽しく、私の息抜きになっているからです。

また、以前お年寄りの方が倒れているのを見かけた際、迅速に応急手当ができ、経験が身についていると感じました。



みんなで手作りし、イベントで配っています

●焼津市消防団

団長 岩本 操さんから

女性は基本的に自分から志願して入団します。女性団員が増えたことによって全体の雰囲気が変わり、団員の意識もよりよい方向に変わりました。

皆、新たな任務への挑戦意欲を持って入団した団員で、男女の隔てなく協力し合う組織の強い団結力があります。女性団員も男性団員と同じように熱意が高く、お互いに切磋琢磨していると感じています。

みなさんにはそれぞれの経験を生かして長く在籍して活躍して頂きたいです。

●ベトナムから日本に来て知った「防災」

ベトナムでは地震や津波がほとんどないので、あまり防災に対する意識はありませんが、小学校の時に警察や治安隊の方たちが来て、台風や火事の時にはどうしたら良いか、教えてくれる授業はありました。初めて静岡へ来た時、地震や津波の話聞いて不安を感じましたが、同じ職場の方から消防団への入団を勧められ、入団しました。わからないこともたくさんありますが、何より自分の命や家族の命を助けるための方法を学ぶことが出来るので、貴重な経験が出来ていると思います。

●仕事と家庭、そして消防団

子どもが小さいので、保育園から呼び出しがかかることもありますが、仕事の面ではテレワークも利用して、職場の方たちに支えられながら動いています。また消防団としての活動は月に1~2回ですが、夫に協力をしてもらい、活動が出来ています。

入団当初は日本での友達もいなかったのですが、消防団のコミュニティに入れたことは私にとって良かったです。訓練時に消防車に乗ってパトロールをしながら、焼津市のことを団員からたくさん教えていただきました。



●これから入団したいと 思っている方たちに一言！

消防団員は災害時の活動だけでなく、普段は火災予防や応急手当の普及・啓発など、さまざまな活動を行っています。わからないことも団員のみなさんが優しく丁寧に教えてくれます。ここでの出会いとコミュニティをこれからも大切にしたいです。普段ではなかなかできない貴重な体験ができるので、気軽に参加してみてください。

●地域に貢献できることがうれしい！

分団長に声をかけてもらったことが入団のきっかけでした。それまでは消防団のこともよく知りませんでしたが、同僚も何人か入籍していて、全く知らない人たちの中に入るわけでもなく地域貢献もできるのならとやってみることにしました。

家族には入団の相談をしませんでした。男性ばかりの中で大丈夫なのか、また体調の心配はされていますが、それ以上に地域の方たちに消防団のことを知ってもらえたり、労いの言葉をかけられると頑張ろうという気力が湧いてきます。

●今しかできない経験ができて日々成長を感じる

消防団に入団していなかったらきっと知ることができなかったことがたくさんあったと思います。団員のみなさんも優しい方たちばかりで、活動を続けるモチベーションにつながっています。みなさんとかかわりの中で専門的な知識や経験を身に付けることができ、とても勉強になります。

まわりの方たちの支えもあり日々成長している自分を感じることができています。



●焼津市消防団第8分団 分団長 柳田 暁さんから

女性団員の入団にあたり、訓練の方法や役割分担、教育方針を、分団内で検討することによって、訓練全体の質が上がり、活動中の雰囲気も引き締まった気がします。

以前の分団小屋内の資器材の配置場所は、目線より上に重量物があり無造作でしたが、女性団員の提案から使用頻度を考慮した誰にでも取りやすい配置になり作業効率の向上が図られました。

今後期待していることは、指揮・指導のできる分団幹部になってほしいということです。性別にとらわれずにやりたいことを見つけ、団員としてのスキルを高めていってほしいです。



教えて！カエルくん

管理栄養士 風間幸代さん監修

乾パンDE黒糖きなこかりんとう

【材料】	
乾パン	20個
黒砂糖（粉末）	60g
きなこ	大さじ2
アーモンド（好みで）	10粒
水	大さじ4

- 【作り方】①アーモンドは、包丁で刻んでおく。
②フライパンに黒砂糖と水を入れて弱火で溶かし、沸騰したら、①ときなこを加える。
③乾パンを加えて、さいばしなどで弱火のまま混ぜ続ける。
④粉がふいたようになってきたら火を止める。皿に移して冷ましたらできあがり！

栄養価（5個当たり）	
エネルギー	149kcal
たんぱく質	4.0g
脂質	3.3g
炭水化物	27.3g
塩分	0.2g



防災用品で備蓄している乾パンが余っていませんか？フライパンにいれて混ぜるだけで、簡単においしいおやつに生まれ変わります！冷ますとさくさくおいしくなりますよ。ミネラル分が豊富な黒糖に、タンパク質や食物繊維、カルシウムもとれるきなこをまぶし、良質な脂質やビタミンEがとれるアーモンドも絡めて香ばしく仕上げました。こどもからお年寄りまで楽しめます。



風間さんのHPはこちら！



編集後記

- 消防団の活動を楽しんでいる姿が素敵だと感じました。ドローンの話もたくさん聞けて勉強になりました。㊶
- 女性消防団員の方たちの姿は生き生きとして、とても頼もしく感じました。訓練をしている姿もぜひ拝見してみたいです！㊶
- 紙面で紹介されているように、女性の方たちが地域のために活躍されている姿を間近で見ることができて、なんだか元気をもらえました。㊶

読者の声

Aしおかげ前号(64号)へ読者からご意見・ご感想が寄せられました。皆様の感想をお待ちしております。65号への感想はこちら！→



もやもやエピソードを読み、改めて自分もこのように感じていたことがあったと気づくものがたくさんありました。以前は当たり前だと思い、気にもとめなかったことが時代の流れとともに、一度立ち止まって考える必要があることが多いなとも感じました。互いに自分の言動に気をつけていくことが大切ですね。(50代)

自分自身のものごととのとらえや、もの見方で発言をしてしまっていることがあり、この記事を読んで、いろいろなことへの気づきになり、たいへん参考となりました。(50代)

アンコンシャス・バイアスは残念ながら誰もがもっている意識の一つだと思います。それをゼロにすることは難しいと正直感じます。ただ、本記事などで広めていくことで、意識を高めるだけでも社会全体が変わってくると感じました。長期的な取り組みになるかと思いますが、継続していくことは必要だと思います。(40代)